

# I 調査結果の概要

# 1 全国の主要都市における国産標準品、有機栽培品、特別栽培品及び輸入品の価格・販売動向

## (1) 販売店舗数割合

平成20年における販売区分別（国産標準品、有機栽培品、特別栽培品及び輸入品。以下同じ。）の販売店舗数割合は、以下のとおりであった。

ア 国産標準品の品目別の販売店舗数割合をみると、かぼちゃ、さといも、ブロッコリー及びにんにくで、他の品目に比べ低くなっている。

イ 有機栽培品については、たまねぎが最も高く、次いで、にんじん、ばれいしょ、ほうれんそうの順となっている。

ウ 特別栽培品については、たまねぎが最も高く、次いで、にんじん、しょうが、ばれいしょの順となっている。

エ 輸入品については、ブロッコリー、かぼちゃ及びにんにくが3割以上と高くなっている。また、にんにくは、前年に比べ販売店舗数割合が21.5ポイント低下している。

表1 販売区分別の販売店舗数割合

品目	販売店舗数割合 (%)				対前年差 (ポイント)			
	国産標準品	有機栽培品	特別栽培品	輸入品	国産標準品	有機栽培品	特別栽培品	輸入品
だいこん	99.0	9.4	4.1	...	△ 0.5	2.7	△ 0.4	...
にんじん	97.0	16.2	15.3	0.3	△ 1.3	4.1	△ 0.9	△ 0.6
ごぼう	97.1	6.4	9.0	3.3	1.2	2.8	2.6	△ 5.4
はくさい	98.6	...	1.3	...	△ 1.2	...	0.7	...
キャベツ	99.0	3.9	4.6	...	△ 0.8	1.6	1.6	...
ほうれんそう	98.5	10.8	4.0	...	0.1	3.2	0.9	...
ねぎ	99.0	1.8	5.2	1.6	△ 0.1	0.5	2.6	△ 4.6
ブロッコリー	91.5	...	...	34.6	3.8	...	...	△ 3.8
レタス	98.7	...	3.3	...	△ 0.9	...	0.1	...
きゅうり	99.0	4.8	3.2	...	△ 0.8	2.9	△ 2.4	...
かぼちゃ	72.9	...	4.6	32.2	1.6	...	1.7	△ 2.4
なす	97.9	2.9	4.0	...	△ 1.2	2.4	△ 0.6	...
トマト	99.0	4.7	12.0	...	△ 0.9	1.7	△ 2.0	...
ミニトマト	95.6	4.4	9.4	0.1	△ 2.4	1.6	△ 1.6	△ 1.8
ピーマン	98.8	5.0	4.6	...	△ 0.1	2.5	△ 2.5	...
ばれいしょ	94.3	12.7	14.0	...	△ 1.1	2.5	0.5	...
さといも	90.2	...	3.3	0.6	1.0	...	△ 0.8	△ 4.8
たまねぎ	96.0	17.2	19.0	1.5	0.3	4.0	3.0	△ 1.9
にんにく	92.7	...	8.2	31.8	2.9	...	0.1	△ 21.5
しょうが	95.7	...	15.2	12.9	2.6	...	3.3	△ 6.4
生しいたげ	98.7	...	...	2.9	△ 0.2	...	...	△ 12.4

注：販売店舗数割合は、年間延べ調査店舗（1,259店舗）に対する、各品目の販売区分別の販売店舗数（年間延べ）の割合である。

## (2) 価格動向

主要品目について、販売区分別の月別の価格動向をみると、価格の騰落はあるものの、総じて有機栽培品、特別栽培品は国産標準品の価格を上回って推移し、輸入品は国産標準品の価格を下回って推移している。

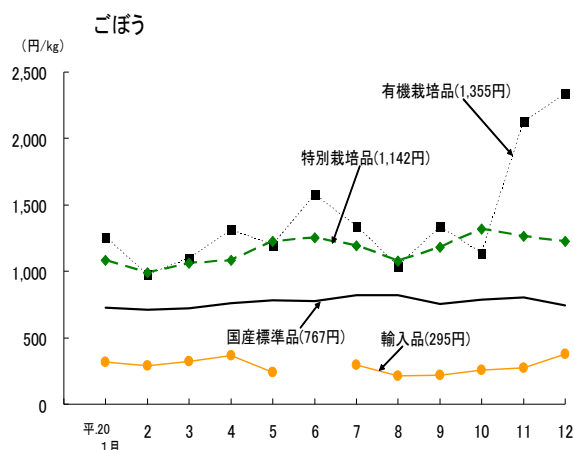
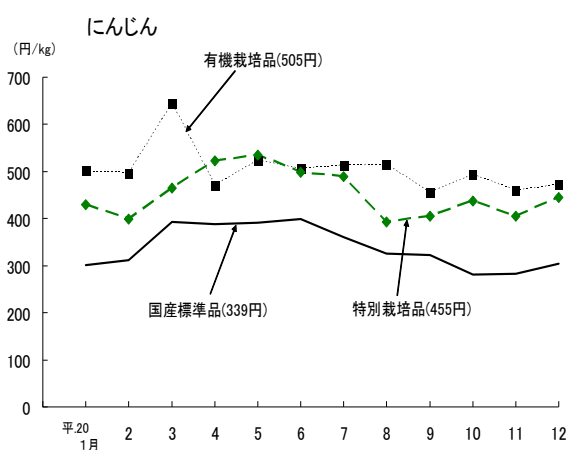
また、主要品目の販売区分別年平均価格（1 kg当たり）において、国産標準品とそれ以外の販売区分との価格を比較すると、以下のとおりであった。

ア 有機栽培品は、たまねぎが96%（国産標準品207円に対し有機栽培品405円、以下同じ。）、ばれいしょが62%（268円に対し433円）、にんじんが49%（339円に対し505円）、それぞれ国産標準品を上回っている。

イ 特別栽培品は、たまねぎが59%（国産標準品207円に対し特別栽培品329円、以下同じ。）、にんじんが34%（339円に対し455円）、しょうがが19%（1,424円に対し1,701円）、それぞれ国産標準品を上回っている。

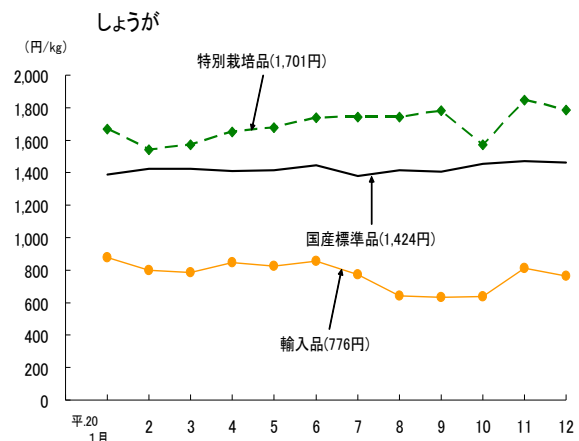
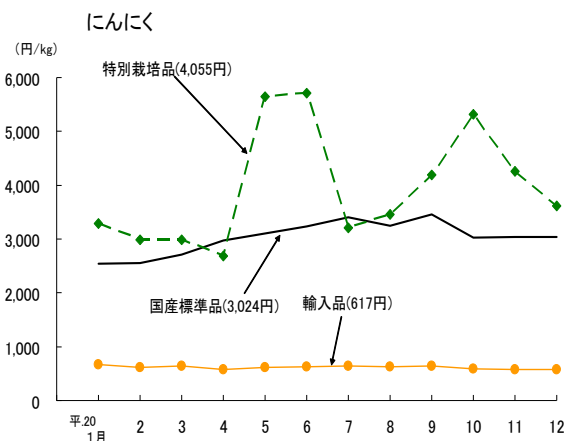
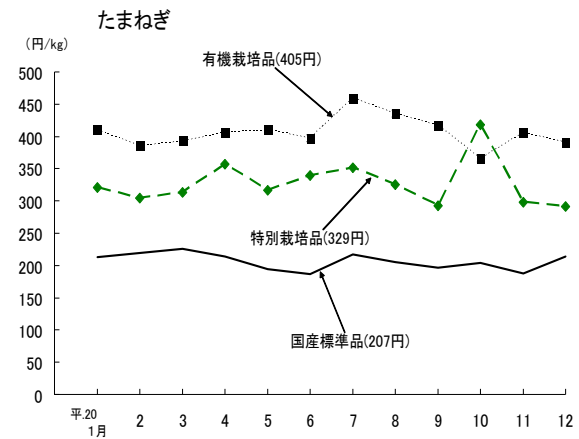
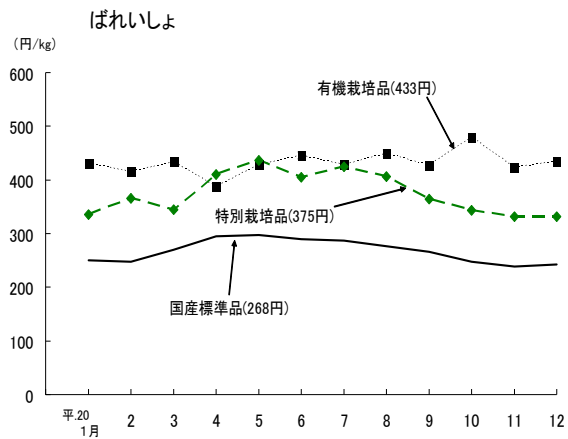
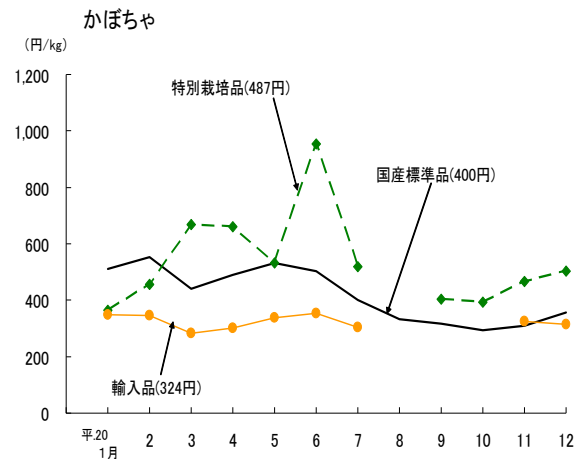
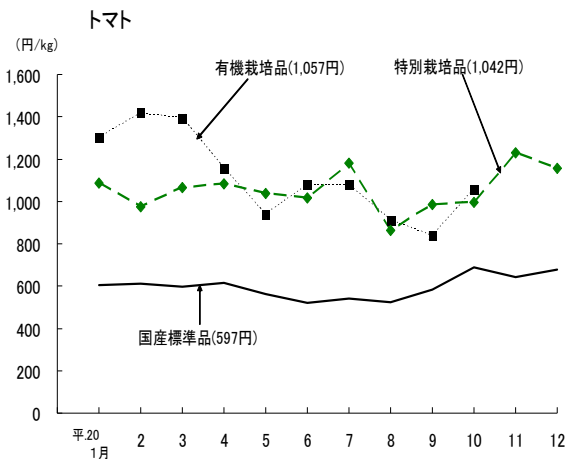
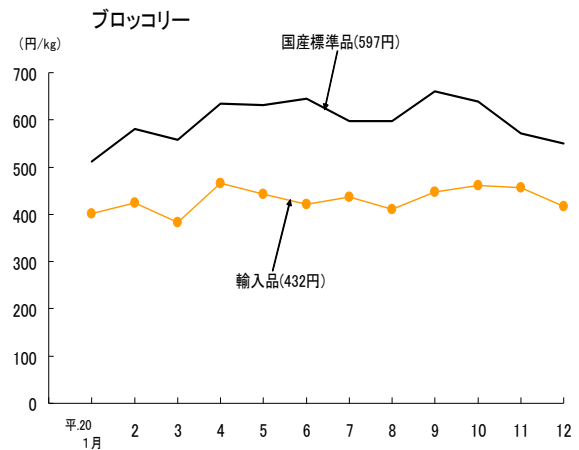
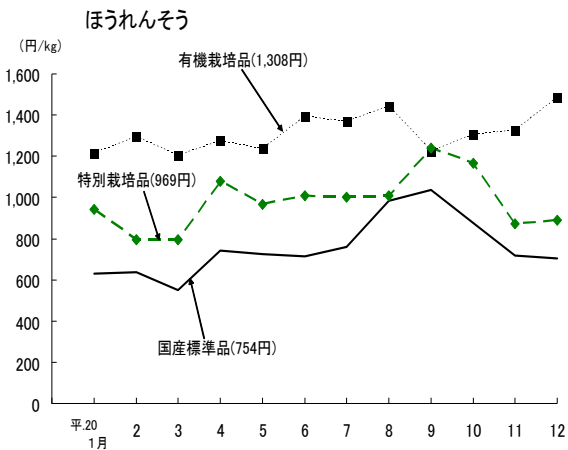
ウ 輸入品は、にんにくが80%（国産標準品3,024円に対し輸入品617円、以下同じ。）、ブロッコリーが28%（597円に対し432円）、かぼちゃが19%（400円に対し324円）、それぞれ国産標準品を下回っている。

図1 主要品目における販売区分別の価格推移



注：1 ( )内の価格は、年平均価格である。

2 グラフが途切れている部分は、当該品目の販売店舗数が1店舗以下であった月である。  
(以下同じ。)



## 2 並列販売店舗<sup>(注)</sup>における国産標準品、有機栽培品、特別栽培品及び輸入品の価格・販売動向

### (1) 並列販売店舗数割合

国産標準品と有機栽培品等を並列して販売している店舗数割合は、以下のとおりであった。

ア 国産標準品と有機栽培品については、にんじん、たまねぎ、ばれいしょ及びほうれんそうが1割以上の店舗で並列販売されている。

イ 国産標準品と特別栽培品については、たまねぎ、にんじん、しょうが及びトマトが1割以上となっている。

ウ 国産標準品と輸入品については、にんにく及びブロッコリーが約3割と高くなっている。また、にんにく及び生しいたけについては、前年に比べ並列販売店舗数割合が10ポイント以上低下している。

(注) 並列販売店舗とは、同じ品目について国産標準品と高付加価値品（有機栽培品、特別栽培品）又は輸入品のいずれかを同時に販売している店舗をいう。

表2 販売区分別の並列販売店舗数割合

品目	並列販売店舗数割合(%)			対前年差(ポイント)		
	有機栽培品	特別栽培品	輸入品	有機栽培品	特別栽培品	輸入品
だいこん	9.4	3.3	…	2.8	△ 1.0	…
にんじん	15.6	12.9	0.2	4.2	△ 2.5	△ 0.7
ごぼう	6.4	7.7	2.8	3.1	2.4	△ 4.0
はくさい	…	1.0	…	…	0.4	…
キャベツ	3.9	3.7	…	1.6	0.7	…
ほうれんそう	10.4	3.4	…	3.6	0.4	…
ねぎ	1.8	4.2	1.6	0.5	1.6	△ 3.9
ブロッコリー	…	…	27.6	…	…	0.4
レタス	…	2.9	…	…	△ 0.3	…
きゅうり	4.8	2.8	…	2.9	△ 2.8	…
かぼちゃ	…	2.0	8.6	…	0.3	△ 1.2
なす	2.9	3.3	…	2.4	△ 1.0	…
トマト	4.7	11.8	…	1.7	△ 2.2	…
ミニトマト	4.3	8.6	0.1	1.6	△ 2.4	△ 1.5
ピーマン	5.0	4.3	…	2.5	△ 2.6	…
ばれいしょ	11.6	9.1	…	2.8	△ 0.8	…
さといも	…	1.8	0.6	…	△ 0.5	△ 3.2
たまねぎ	15.3	15.9	1.4	4.7	2.6	△ 1.9
にんにく	…	5.9	29.0	…	△ 0.3	△ 17.4
しょうが	…	12.8	12.7	…	2.9	△ 4.5
生しいたけ	…	…	2.9	…	…	△ 11.5

注：並列販売店舗数割合は、年間延べ調査店舗（1,259店舗）に対する、各品目の販売区分別の並列販売店舗数（年間延べ）の割合である。

## (2) 販売数量割合

並列販売店舗における各販売区分別販売数量の販売数量全体に対する販売数量割合をみると、以下のとおりであった。

ア 有機栽培品については、ごぼう、ミニトマト及びピーマンが1割以上の高い割合で販売されている。

イ 特別栽培品については、しょうが、かぼちゃ、レタス及びにんじんが2割以上の高い割合で販売されている。

ウ 輸入品は、にんじん、にんにく、かぼちゃ、しょうが及び生しいたけが5割以上の高い割合で販売されている。

表3 並列販売店舗における1店舗1日当たり販売区分別の販売数量・割合

品目	販売数量			販売数量割合		
	有機栽培品	特別栽培品	輸入品	有機栽培品	特別栽培品	輸入品
だいこん	3	8	…	4.3	12.9	…
にんじん	3	8	31	6.5	21.1	93.9
ごぼう	1	1	4	12.5	16.7	36.4
はくさい	…	3	…	…	4.2	…
キャベツ	5	6	…	4.1	3.6	…
ほうれんそう	1	2	…	4.0	11.8	…
ねぎ	1	2	4	6.7	11.1	28.6
ブロッコリー	…	…	10	…	…	43.5
レタス	…	10	…	…	26.3	…
きゅうり	1	1	…	1.7	3.3	…
かぼちゃ	…	7	15	…	31.8	60.0
なす	1	2	…	3.4	9.1	…
トマト	1	5	…	1.8	11.6	…
ミニトマト	1	1	…	10.0	11.1	…
ピーマン	1	1	…	10.0	8.3	…
ばれいしょ	2	5	…	3.1	13.9	…
さといも	…	1	3	…	8.3	30.0
たまねぎ	4	13	14	4.6	18.3	19.4
にんにく	…	0	2	…	0.0	66.7
しょうが	…	2	5	…	40.0	55.6
生しいたけ	…	…	4	…	…	50.0

注：販売数量割合は、並列販売店舗における各販売区分（有機栽培品、特別栽培品、輸入品）の販売数量と国産標準品の販売数量の計に対する各販売区分の販売数量の割合である。

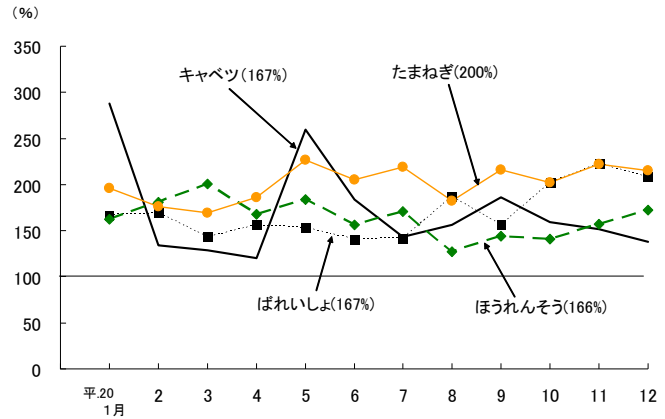
すなわち、販売数量割合＝各販売区分の販売数量／（国産標準品の販売数量＋各販売区分の販売数量）×100となり、数値が大きいほど各販売区分の販売シェアが高いことを示す。

### (3) 価格動向

並列販売店舗における主要品目の年平均価格について、国産標準品の価格と販売区分別の価格を比較すると、以下のとおりであった。

ア 有機栽培品の国産標準品との年平均価格比は、たまねぎが200%、ばれいしょ及びキャベツが167%、ほうれんそうが166%となっている。

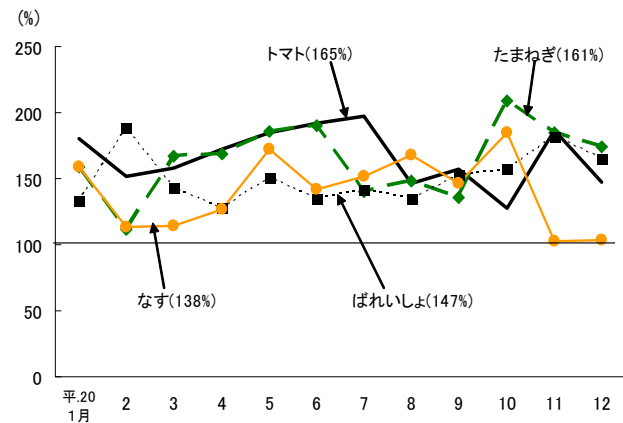
図2 有機栽培品の国産標準品との価格比



注：1 国産標準品の価格を100とした比率(%)である。(以下同じ。)  
2 ( ) 内の数値は、年平均価格比である。(以下同じ。)

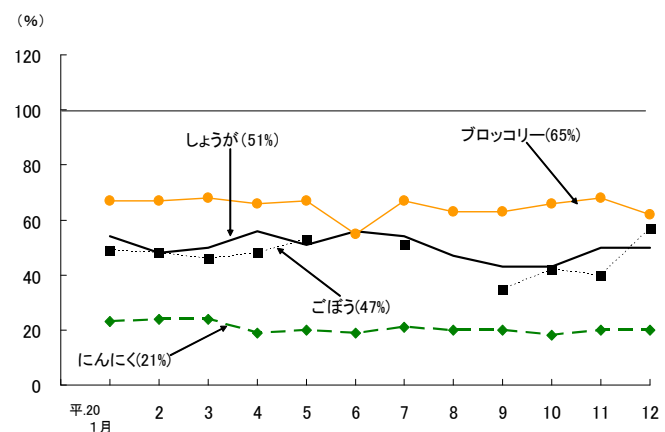
イ 特別栽培品の国産標準品との年平均価格比は、トマトが165%、たまねぎが161%、ばれいしょが147%、なすが138%となっている。

図3 特別栽培品の国産標準品との価格比



ウ 輸入品の国産標準品との年平均価格比は、にんにくが21%、ごぼうが47%、しょうがが51%、ブロッコリーが65%となっている。

図4 輸入品の国産標準品との価格比

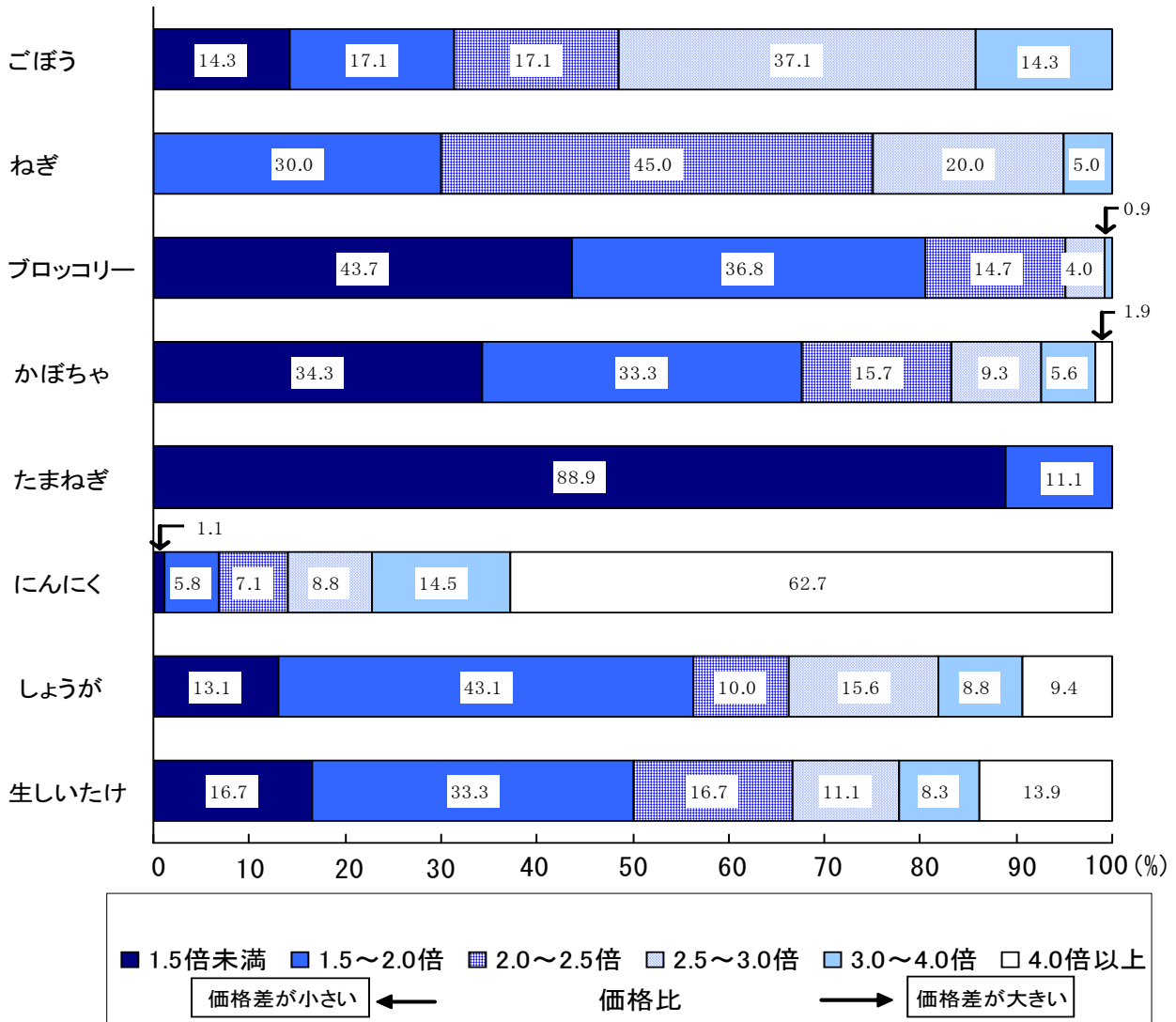


#### (4) 輸入品に対する国産標準品の価格比と国産標準品の販売数量割合

国産標準品と輸入品の並列販売店舗において、輸入品に対する国産標準品の価格比（国産標準品/輸入品）による店舗数の分布をみると、国産標準品と輸入品の価格差が比較的小さい（価格比が1.5倍未満）店舗が多い品目は、たまねぎ、ブロッコリー、かぼちゃ等であり、特にたまねぎは約9割、ブロッコリーは約4割の店舗で価格比が1.5倍未満となっている。一方にんにくは、約6割の店舗が価格比4.0倍以上となっており、輸入品が国産標準品の4分の1以下の価格で販売されている店舗が多数を占めている（図5参照）。

また、国産標準品の販売数量割合による店舗数を価格比別にみると、価格差が比較的小さいたまねぎ、ブロッコリー及びかぼちゃは国産標準品の販売数量割合の高い店舗が多く、価格差が大きいにんにくは国産標準品の販売数量割合の高い店舗が少なくなっている（図6参照）。

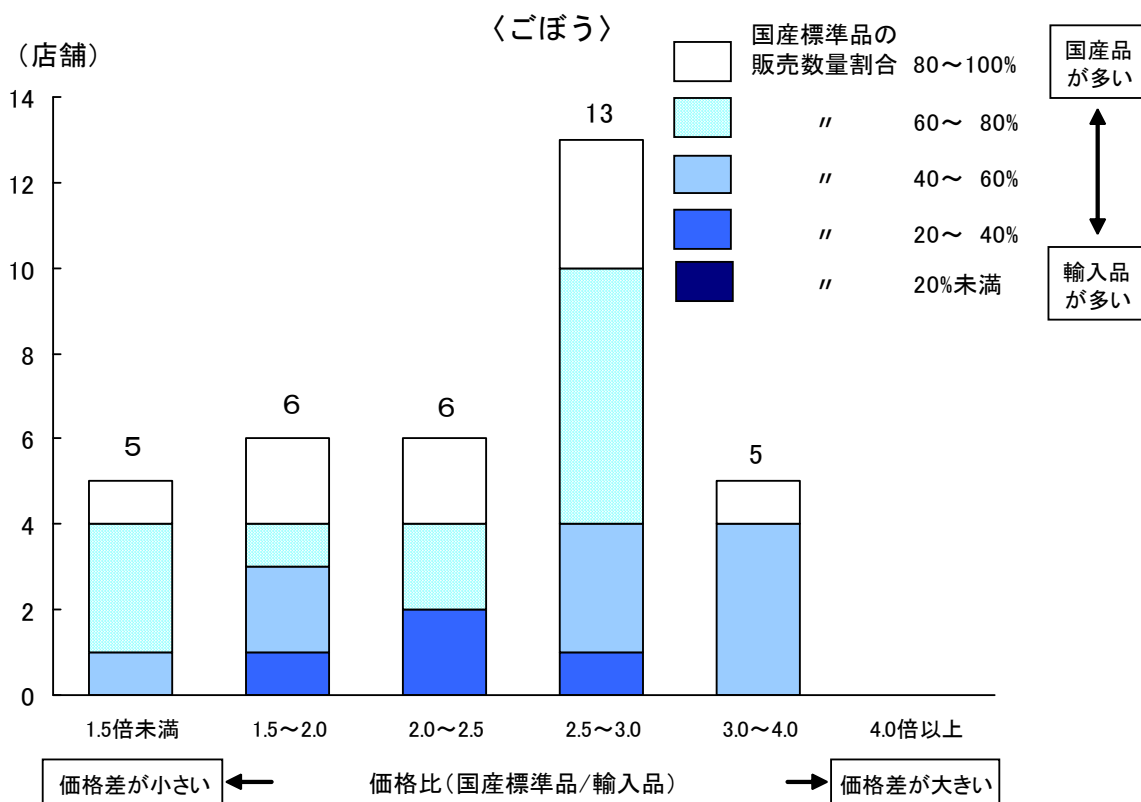
図5 価格比別の輸入品並列販売店舗数割合



注：価格比＝国産標準品の価格／輸入品の価格であり、数値が大きいほど輸入品が国産標準品より安価であることを示す。

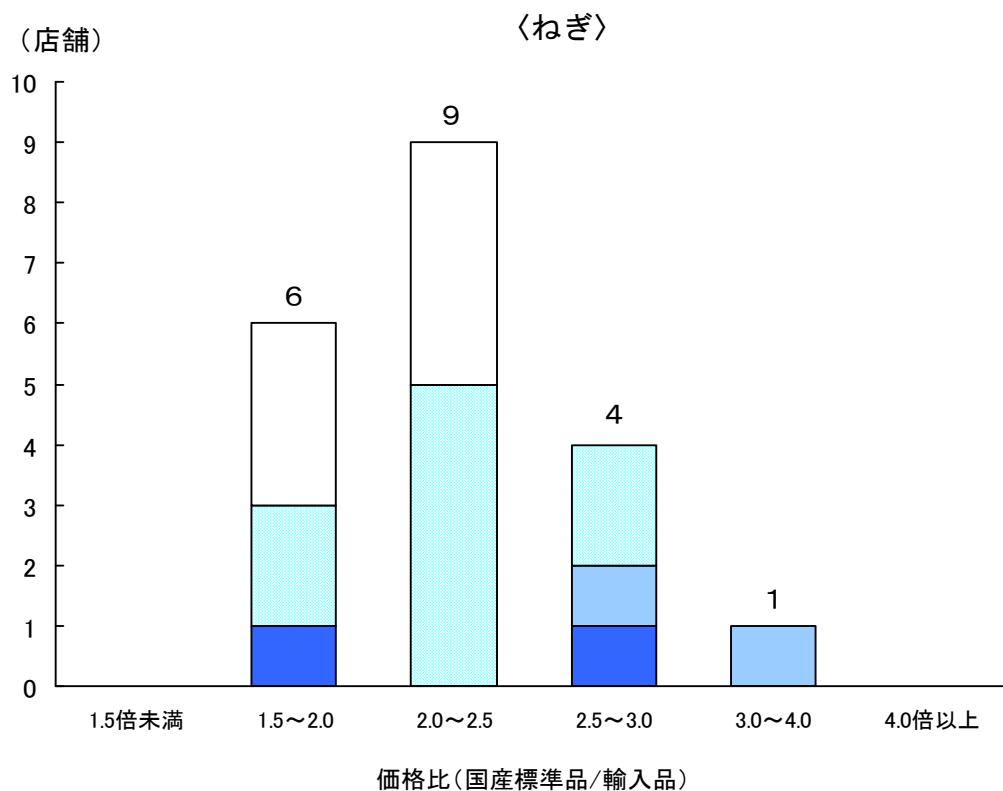


図6 価格比別・販売数量割合別にみた店舗数の分布

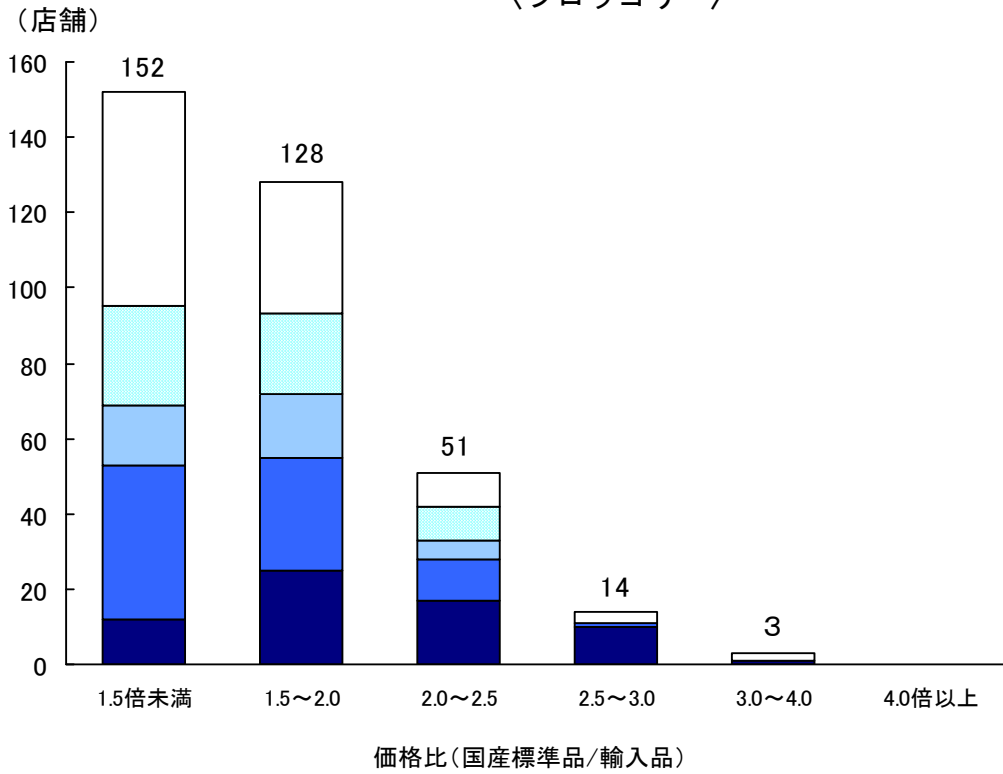


注：1 価格比＝国産標準品の価格／輸入品の価格であり、数値が大きいほど輸入品の価格が低いことを示す。(以下同じ。)

2 販売数量割合＝国産標準品の販売数量／(国産標準品の販売数量＋輸入品の販売数量)×100であり、数値が小さいほど輸入品の占める割合が高いことを示す。(以下同じ。)



〈ブロッコリー〉



〈かぼちゃ〉

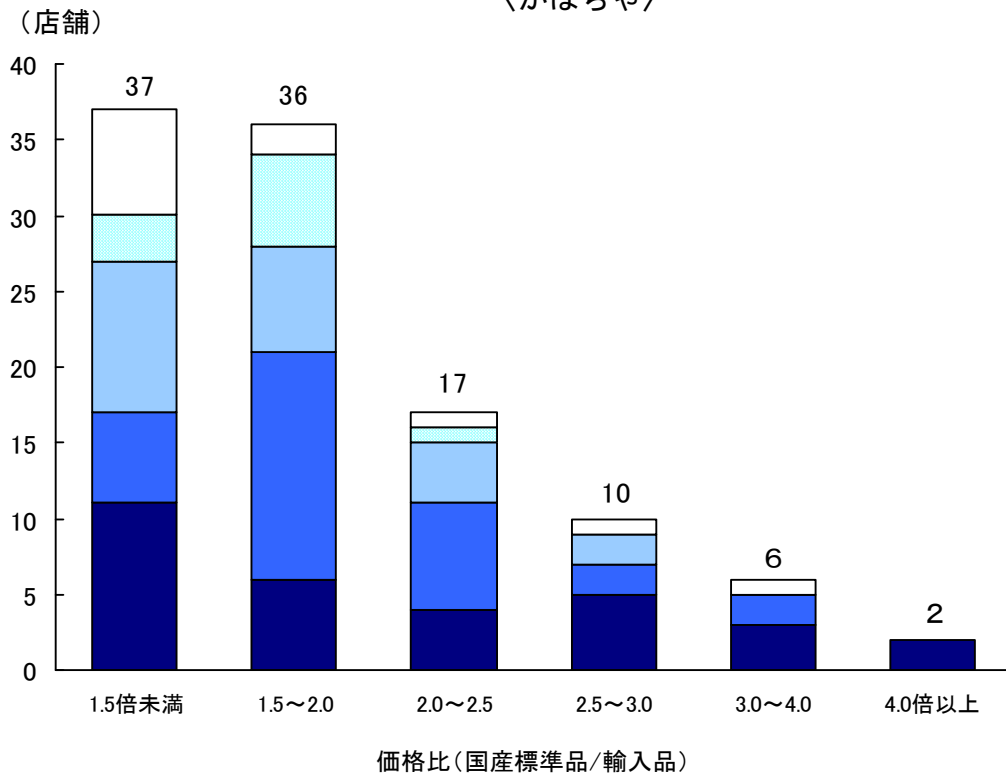
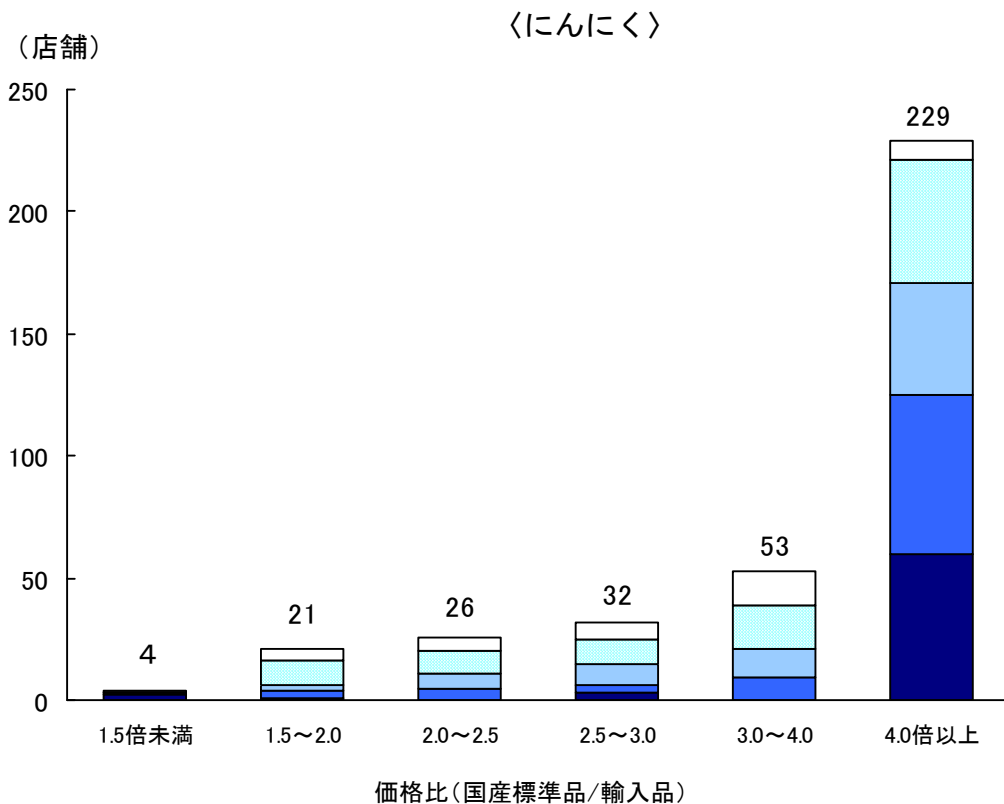
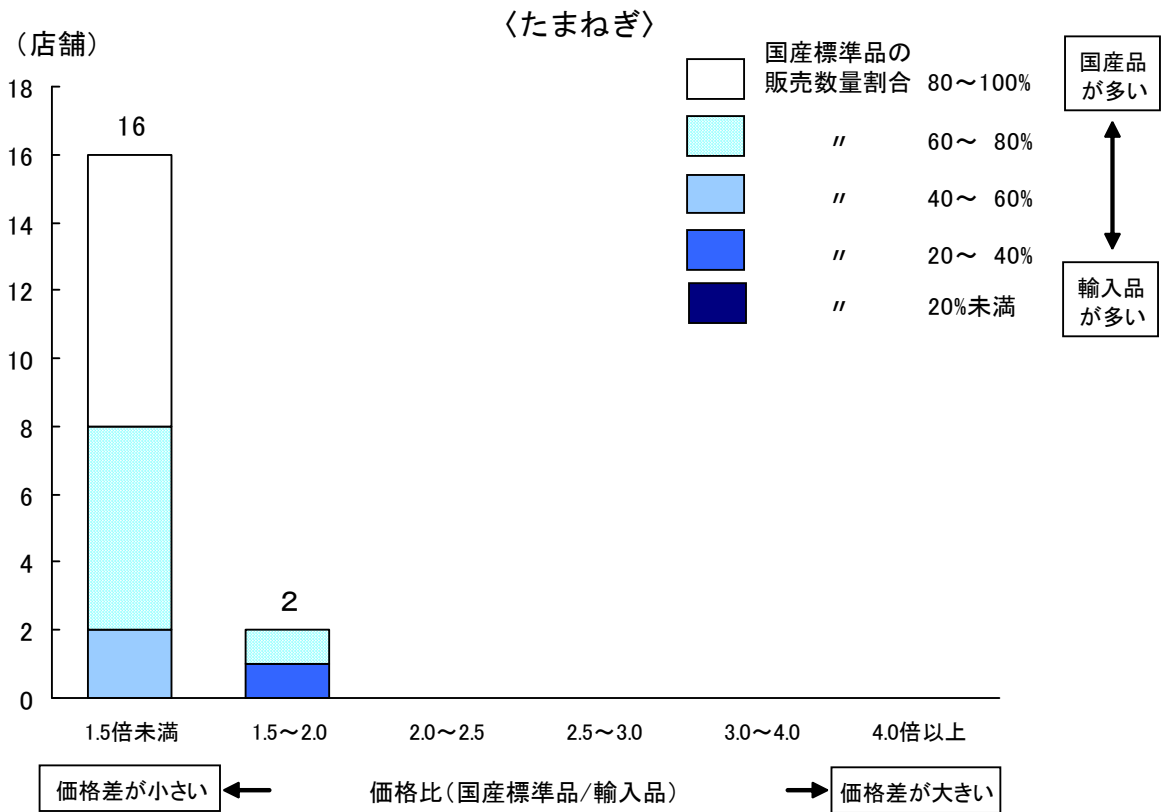
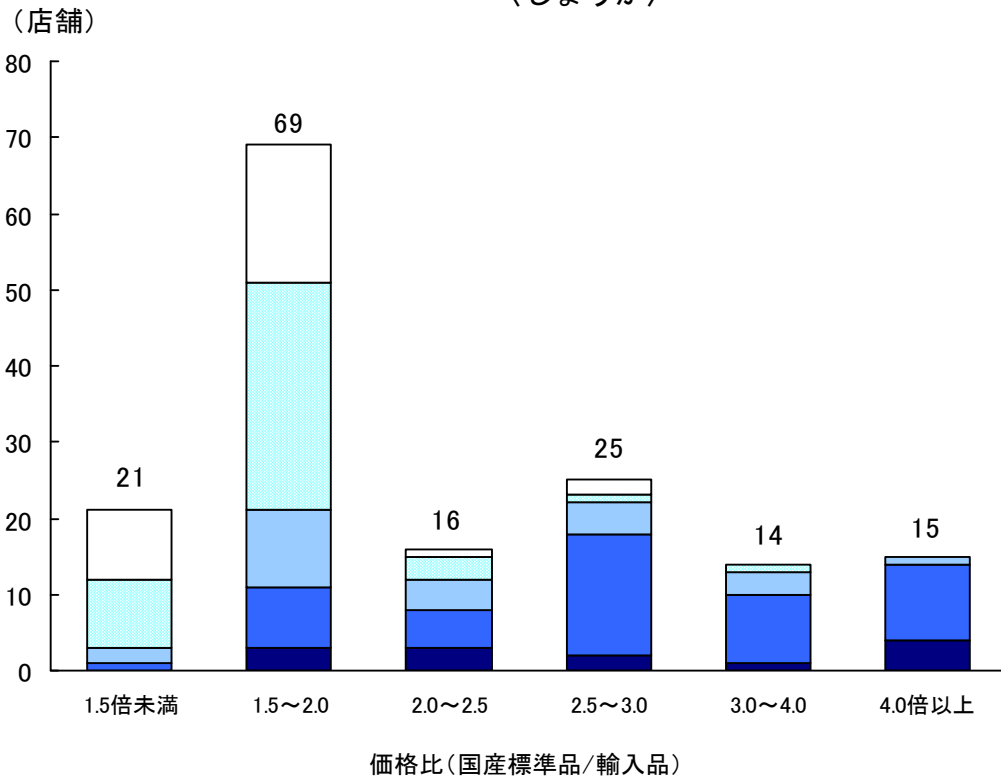


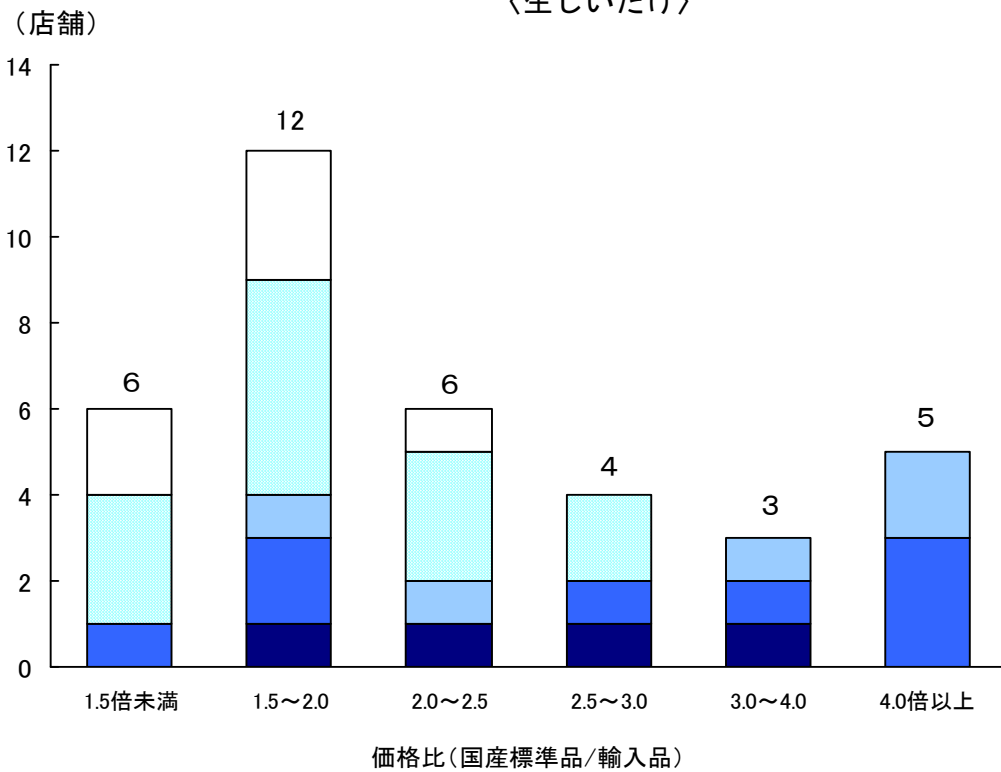
図6 価格比別・販売数量割合別にみた店舗数の分布（つづき）



〈しょうが〉



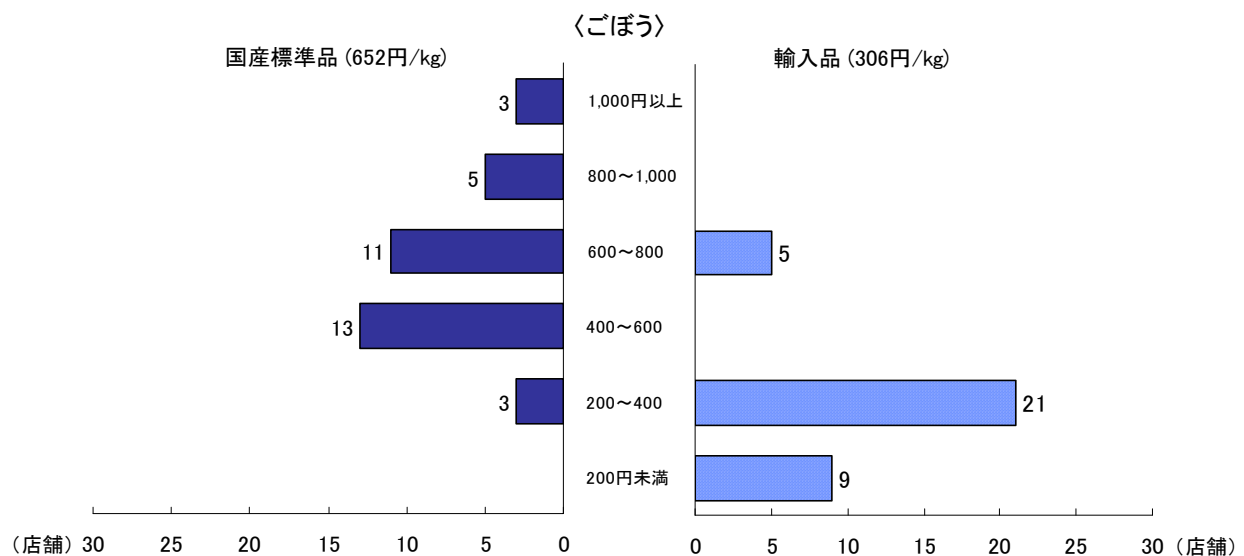
〈生しいたけ〉



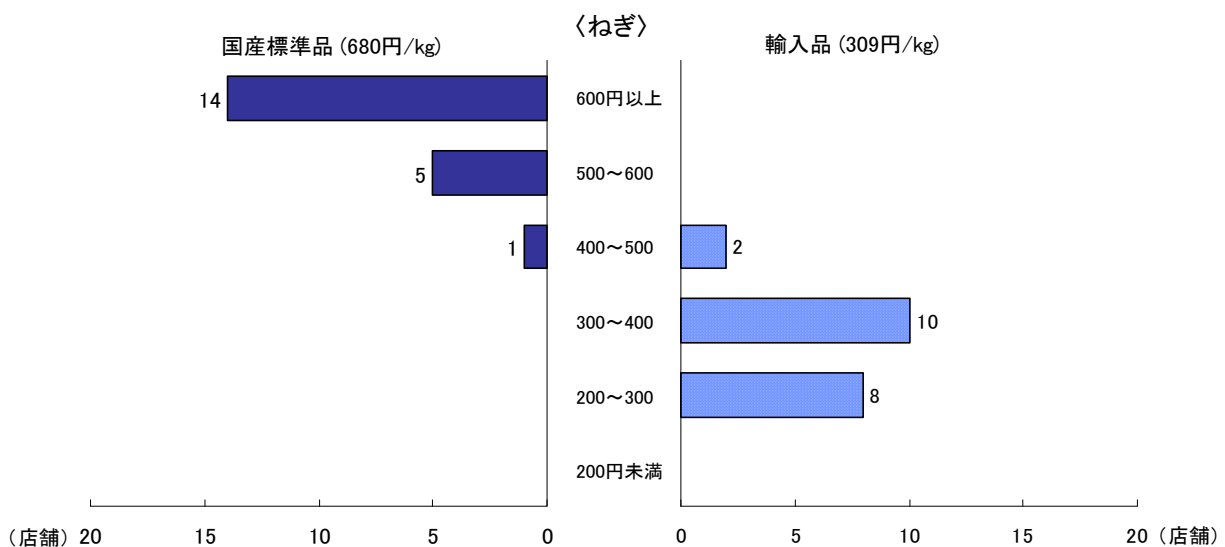
### (5) 国産標準品と輸入品を並列販売している店舗における販売価格

国産標準品と輸入品の並列販売店舗において、輸入品の販売が多かった品目のそれぞれの販売価格をみると、総じて輸入品の価格が安く設定されている。特に、ねぎ、にんにく、しょうが及び生しいたけについては、大半の店舗で輸入品を安い価格で販売している。

図7 並列販売店舗における国産標準品と輸入品の販売価格帯別店舗数



注：1 販売価格帯別店舗数は、並列販売店舗で販売された国産標準品及び輸入品について、それぞれ販売価格帯別に出現した店舗数であり、年間延べ数である。(以下同じ。)  
 2 ( )内の価格は、年平均価格である。(以下同じ。)



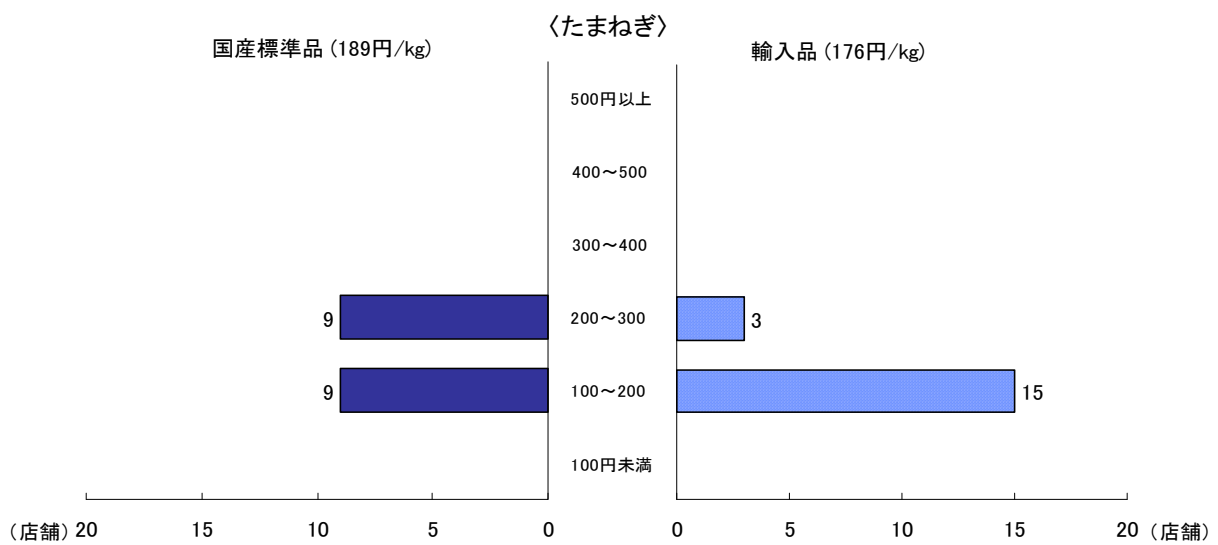
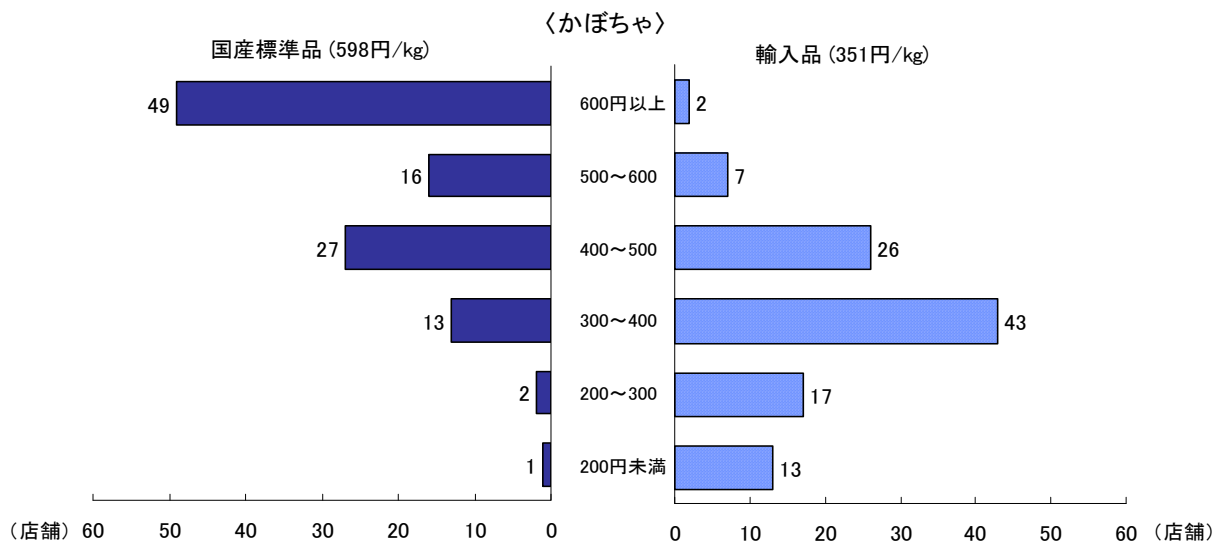
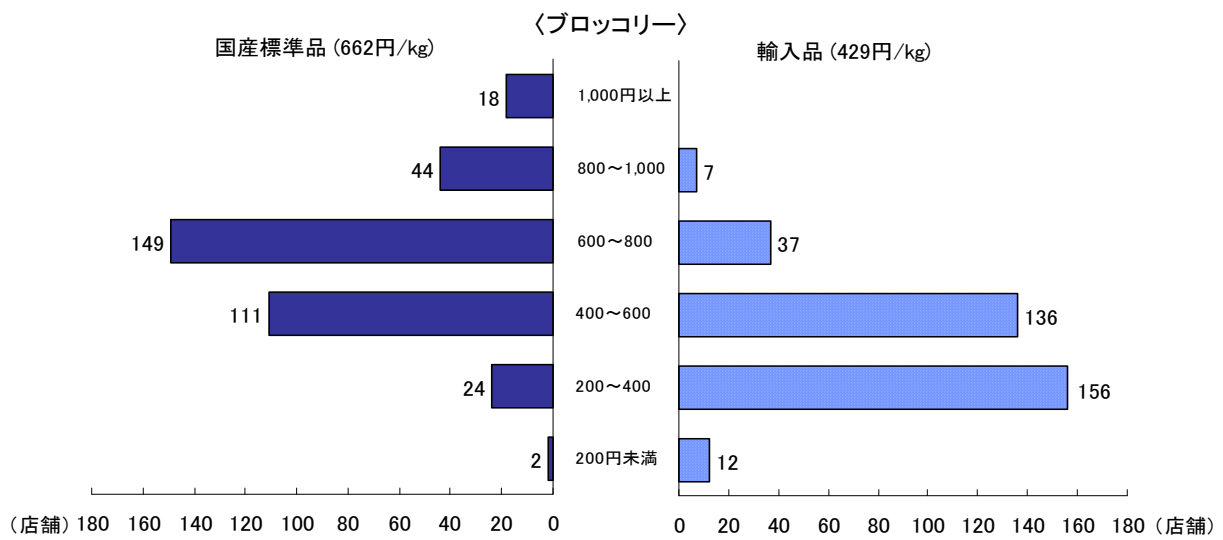


図7 並列販売店舗における国産標準品と輸入品の販売価格帯別店舗数（つづき）

